



## シャロームだより

穏やかな陽の光が嬉しい季節ですね。春の訪れまでもう少し！4月からは新しい生活になる方も多いと思います。新しい環境に慣れるのかな？お友達と仲良く遊べるのかな？心配はたくさんあると思いますが、「いってらっしゃい！」と笑顔で送り出し、お迎え時には「ただいま！」とグューーっと抱きしめてあげてください。最初は泣いて過ごすことが多いと思いますが、きっと笑顔で過ごせるようになります。

それぞれの場所で楽しい時間を過ごすことができるようシャロームからお祈りしています。引き続き遊びに来てくれる方たちとは、またお会いできるのを楽しみにしています。

### 子どもを伸ばす親子の会話～どの年齢でも大切なこと

● 会話のポイント 一方的よりも応答的に

#### 会話はキャッチボール



乳幼児期の子どもは、まだ自分の欲求や感情を上手く言葉で表現できません。そのためまずは大人が子どもの表情や動きに関心を向けることが必要です。子どもが何を見ているのか、何を面白いと感じているのか、子どもに関心を持つようにします。

まだ言葉を話さない赤ちゃんでも「うれしい」「気持ちが悪い」などの表情や泣き声で表現します。その赤ちゃんの発信を「うれしいね」「気持ちが悪かったね」としっかりと受け止めます。子どもが言葉を話しはじめてからは、まず子どもが投げた言葉をキャッチすることを意識します。公園で遊ぶ子どもが「まだ帰りたくない」と言うときには、「もう帰るよ」「晩御飯の時間だよ」と自分の言いたいことを言う前に、まずは「まだ遊びたいんだね」と子どもが投げたボールを確実にキャッチします。まずはキャッチしてから自分のボールを投げることは、相手が子どもでも大人でも同じ、会話の基本です。



子どもが投げた球をまずはキャッチ。子どもが取りやすい球を投げる。



子どもが投げた球は無視。一方的に自分の球を投げる。

